

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
107-161	高等学校	外国語	英語コミュニケーションⅡ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
104・数研	CII104-903	Revised COMET English Communication Ⅱ		

## 1. 編修の基本方針

編修の基本方針として、学習者が**日常的な話題・社会的な話題**を通じて**英語に対する興味**を深め、**英語を聞く・読む・話す・書くことの重要性**を知ると同時に、「**英語コミュニケーションⅠ**」で培った**英語の運用能力**や、**主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度**をさらに伸ばすことができる内容・構成となるよう留意した。

1. 題材の選択においては、学習者に親しみやすく、かつ、学習者の**知的好奇心**を満足させる内容のものを選んだ。
2. 題材内容を一方的に与えるだけでなく、学習者自身の意見を引き出したり、クラスメートに意見を聞いたりする活動を設けるなど、**4技能5領域を統合的に関連させる**ようにした。
3. 言語材料に関しては、「**英語コミュニケーションⅠ**」との**スムーズな連携**を考慮して、必要に応じて再度扱うなど、確実に定着できるよう配慮した。
4. 言語活動においては、**具体的で身近な使用場面**を設定するなどして、学習者が積極的に授業に参加できるように配慮した。

上述した内容・構成によって、学習者が**多様な知識と教養**を習得して、主体的に**社会の形成に参画**し、**自他国の伝統・文化を尊重**しつつ、**国際社会の平和と発展に寄与**する態度を養うことが達成できる教科書となるように編修した。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
Lesson / Reading	①さまざまな内容の英文を読み、活動を行うことによって、幅広い知識と教養を身に付ける。(第1号) ②国内外の世界遺産に関する題材を通じて、自国・他国の魅力を認識すると同時に、歴史・文化に対する理解を深める。(第5号) ③動物写真家 岩合光昭氏のことばと写真を通じて、自然界や生物を尊ぶ態度を養う。(第4号) ④マオリの伝統舞踊「ハカ」に関する題材と、興味のある世界の文化を紹介する活動を通じて、他国の文化を理解し、尊重する態度を養う。(第5号)	①全般 ②Lesson 1 (6-15 頁) ③Lesson 2 (16-25 頁) ④Lesson 3 (28-37 頁)

	<p>⑤デジタルデトックスに関する題材を通じて、デジタル機器の使い方と心身の健康との関わりについて理解を深める。(第1号)</p> <p>⑥効果的な目標設定に関する題材を通じて、自律や自己実現の態度を養う。(第2号)</p> <p>⑦宮大工を目指す高校生に関する題材や、就きたい職業を述べる活動を通じて、自主自律の精神や勤労を重んずる態度を養う。(第2号)</p> <p>また、日本の伝統建築とその技術について知ることによって、自国の伝統と文化を尊重する態度を養う。(第5号)</p> <p>⑧持続可能で環境にやさしい社会をつくるためにできることを述べる活動を通じて、主体的に持続可能な社会の形成・発展に寄与する態度を養う。(第3号)</p> <p>また、アクアポニックスに関する題材を通じて環境にやさしい農法について学ぶことで、環境の保全に寄与する態度を養う。(第4号)</p> <p>⑨実社会でのナッジの活用に関する題材を通じて、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う。(第1号)</p> <p>また、身の回りの問題の解決策を考える活動を通じて、自他の敬愛と協力を重んじつつ、主体的により良い社会の形成に寄与する態度を養う。(第3号)</p> <p>⑩やなせたかしさんの戦中・戦後の体験談に触れ、戦争がもたらした辛さや苦しみを知り、平和を尊ぶ精神を養う。(第5号)</p> <p>⑪留学生の視点で日本のサービスを見直す題材を通じて、自国と他国の伝統や文化の違いを尊重する態度を養う。(第5号)</p> <p>⑫日本の置き薬システムでアフリカの医療問題の改善を目指す題材を通じて、自国の文化に対する理解を深め、同時に国際社会の発展に寄与する態度を養う。(第5号)</p> <p>⑬世界に求められる製品を作る小さな会社に関する題材を通じて、チャレンジ精神を学び、創造性や勤労意欲を培う。(第2号)</p> <p>⑭マララ・ユスフザイさんに関する題材を通じて、男女平等や自他の敬愛の精神を養う。(第3号)</p> <p>また、マララ・ユスフザイさんのテロに屈しない生き方から、国際社会の平和の大切さを学ぶ。(第5号)</p>	<p>⑤Lesson 4 (38-49 頁)</p> <p>⑥Lesson 5 (52-63 頁)</p> <p>⑦Lesson 6 (64-75 頁)</p> <p>⑧Lesson 7 (76-87 頁)</p> <p>⑨ Lesson 8 (90-101 頁)</p> <p>⑩Lesson 9 (102-113 頁)</p> <p>⑪Lesson 10 (114-125 頁)</p> <p>⑫Lesson 11 (128-139 頁)</p> <p>⑬Lesson 12 (140-151 頁)</p> <p>⑭ Reading (152-159 頁)</p>
Activity	<p>①論理パズルを解く活動を通じて、論理的思考や真理を追究する態度を養う。(第1号)</p> <p>②コンビニエンスストアの24時間営業に対する意見を書いて発表する活動を通じて、物事を多角的に考え、真理を求める態度を養う。(第1号)</p>	<p>①Activity 1 (26-27頁)</p> <p>②Activity 4 (126-127 頁)</p>

	また、クラスメートの発表を聞いて意見や感想を述べる活動から、相互の意見を尊重し、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。(第3号)	
<b>3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色</b>		
<b>I. 教科書の特徴</b>		
<b>A. 授業が進めやすく、学習しやすい見開き構成</b>		
左ページに本文、右ページに本文に関する活動を配しました。学習内容が一目でわかる構成で、学習意欲を喚起し、一般的な教養を高め、専門的な知識、技術及び技能を習得させるのに役立ちます。		
<b>B. 学習者が身近に感じ、自信をもてる題材</b>		
学習者の目線で「自分もやればできる」と自信をもてるような題材や、身近なものを通してさまざまな問題を主体的に考えることができるような題材を揃えることで、学習者の個性の確立や、社会についての広く深い理解、社会の発展に寄与する態度を育成します。		
<b>C. 生徒の活躍を引き出す豊富な活動</b>		
評価ポイントが明確で、かつ取り組みやすい活動を豊富に提示し、生徒の「できた」という達成感を向上心につなげられます。		
<b>II. 各課の構成</b>		
レッスンの目標達成に向かって各活動がリンクしており、各活動を通じてトピックの理解を深めることができます。		
<b>導入</b>		
GOAL : 各レッスンで達成すべき目標を確認 Warm Up : ピクチャー・ディクショナリーで、GOAL達成の活動に使える語彙を補強		
<b>本文</b>		
本文を読み、レッスンのトピックに関する知識を身に付ける		
<b>課末①</b>		
Hints for Understanding : 本文理解に必要な文法を確認 CHECK : 学んだ文法事項を使う練習を通して、理解を深める活動 TRY : 学んだ文法事項を用いて、自分のことをクラスメートに伝える活動 Get More Information : トピック関連のリスニング活動でGOAL達成の活動をイメージする		
<b>課末②</b>		
GOAL Activity : レッソンのGOALを達成する、英語でのコミュニケーション活動		
<b>III. その他</b>		
A. 題材は、メール文(Lesson 1)、発表(Lesson 3, 7)、新聞記事(Lesson 4)、意見の表明(Lesson 4, 10)など、目的・場面・状況に応じた多様な形式のものとなりました。		
B. 差し込みのActivityでは、4技能5領域を統合的に用いて、学習者が楽しみながらコミュニケーションへの関心・意欲を育てられる活動を用意しました。		
C. 巻末Word Listでは、本書で扱った語の品詞や名詞の可算・不可算、動詞の活用、形容詞の比較変化などを載せて利便性を高めるとともに、語彙への関心を喚起するよう配慮しました。		

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
107-161	高等学校	外国語	英語コミュニケーションⅡ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
104・数研	CⅡ104-903	Revised COMET English Communication Ⅱ		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

### I. 全般的な留意点

- A. 学習指導要領との対応が明確で、紙面から授業展開がイメージできるように配慮した。
- B. 情報や考えなどを的確に理解できるよう、本文各パートの Comprehension は多様な形式で本文の内容把握ができるものとした。また、What Do You Think? / How About You? / Ask Your Classmates! / Do Some Research! の活動を設けて、本文の内容をもとに、自己表現活動、意見交換、調べ学習ができるような構成とした。
- C. 各課本文や Hints for Understanding / Hints for Understanding Plus の TRY では、目的や場面、状況などを明確に示し、それらに応じて適切なコミュニケーションが図れるよう配慮した。
- D. 各課導入の Warm Up や巻末の TOOL BOX Plus を用いて、コミュニケーションに必要な語彙力を養成するよう工夫した。
- E. 題材はバラエティに富んだ内容で、生徒に身近なものや、教養が身に付くものを選定した。

### II. 教科書の構成

#### A. 本課: 導入

##### 1. 左ページ(扉)

- ① 生徒の関心を引き、題材への興味を喚起する写真
- ② GOAL : そのレッスンの到達目標
- ③ 関連するレッスンではSDGs(持続可能な開発目標)のアイコンを掲載

##### 2. 右ページ

- ① 右上に4技能5領域の観点からの目標(CAN-DO)を掲載
- ② Warm Up : トピックに関連した語彙のピクチャー・ディクショナリー
- ③ Say It ! : Warm Up で学んだ語句を英文の中で使用して確認

#### B. 本課: 本文

##### 1. 左ページ: 本文

- ① 側注に新出語、脚注に固有名詞・イディオム・語句の読み方などを掲載
- ② 二次元コードを用いて、本文・新出語のリスニングや音読・発音練習、本文を読む速さの確認が可能

##### 2. 右ページ: 本文理解に必要な活動

- ① Points to Check : 代名詞の指すものや注意すべき語句の意味などを確認
- ② Comprehension : 本文の内容把握問題
- ③ What Do You Think? など : 本文内容に関連した自己表現活動や調べ学習

## C. 本課:課末①

## 1. 左ページ

- ① **Hints for Understanding** : 本文理解に必要な文法を確認  
 ② **CHECK** : 学んだ文法事項を使う練習を通して, 理解を深める  
 ③ **TRY** : 学んだ文法事項を用いて, 自分のことをクラスメートに伝える活動

**+Plus** でさらに会話を続ける工夫を提示

## 2. 右ページ

**Get More Information** : トピック関連のリスニング活動で **GOAL** 達成の活動をイメージ

## D. 本課:課末②

1. **GOAL Activity** : レッソンの **GOAL** を達成するコミュニケーション活動

2. **Check the Performance!** : **GOAL Activity** に関する評価基準を提示

## 2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
・Activity 3 ・ReadingのLet's Do It!	<内容> (1)-ア 音声 (ア)~(ウ)	・88-89頁 ・159頁	別表
・各レッスンの本文 ・Activity 2 ・Reading	(1)-イ 句読法 (ア)~(ウ)	・18, 51, 56, 155頁 など	
・各レッスンの本文, 脚注 ・Readingの本文, 脚注	(1)-ウ 語, 連語及び慣用表現 (ア)~(ウ)	・8, 10, 152頁など	
・各レッスンのHints for Understanding ・Hints for Understanding Plus	(1)-エ 文構造及び文法事項 (ア)(イ) a~h	・12頁など ・160-161頁	
・各レッスンのComprehension ・各レッスンのGet More Information	(2)-ア	・9頁など ・13頁など	
・各レッスンのWhat Do You Think? / How About You? / Ask Your Classmates!	(2)-イ	・9頁など	
・各レッスンのGOAL Activity ・Activity 4	(2)-ウ	・14-15頁など ・126-127頁	
・Lesson 1~6, 8, 9のGet More Information ・Activity 3	(3)-①-イ 聞くこと-(ア)	・13頁など ・88-89頁	
・Lesson 7, 10, 11, 12のGet More Information	(3)-①-イ 聞くこと-(イ)	・85頁など	
・Lesson 1 の GOAL Activity Step 1 ・Lesson 4-Part 1, 2 の Comprehension ・Lesson 8 の GOAL Activity Step 1 ・Lesson 9 の GOAL Activity Step 1	(3)-①-ウ 読むこと-(ア)	・14頁 ・41, 43頁 ・100頁 ・112頁	
・Activity 2	(3)-①-ウ 読むこと-(イ)	・50-51頁	
・各レッスンのWhat Do You Think? / How About You? / Ask Your Classmates! ・Activity 4	(3)-①-エ 話すこと[やり取り]- (ア)	・9頁など ・126-127頁	
・Lesson 10 の What Do You Think?	(3)-①-エ 話すこと[やり取り]- (イ)	・117, 119, 121 頁	
・Lesson 1~6, 8, 9 の GOAL Activity	(3)-①-オ 話すこと[発表]-(ア)	・14-15頁など	
・Lesson 7, 10, 11 の GOAL Activity	(3)-①-オ 話すこと[発表]-(イ)	・86-87頁など	
・Activity 4	(3)-①-カ 書くこと-(ア)	・126-127頁	
・Lesson 12 の GOAL Activity Step 3	(3)-①-カ 書くこと-(イ)	・151頁	

<ul style="list-style-type: none"> <li>・Lesson 1 本文</li> <li>・Lesson 4 本文</li> <li>・Activity 3</li> <li>・Lesson 8 の GOAL Activity Step 1</li> <li>・Lesson 9 の GOAL Activity Step 1</li> </ul>	(3)-②-ア 言語の使用場面の例 -(ア)~(ウ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8, 10頁</li> <li>・40, 42頁</li> <li>・88-89頁</li> <li>・100頁</li> <li>・112頁</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各レッスンの Get More Information</li> <li>・各レッスンの GOAL Activity Step 3, 4</li> <li>・Activity 4</li> <li>・Reading 2 Let's Do It!</li> </ul>	(3)-②-イ 言語の働きの例 - (ア)~(オ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・13頁など</li> <li>・15頁など</li> <li>・126-127頁</li> <li>・159頁</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各レッスンの GOAL Activity</li> <li>・Activity 2~4</li> </ul>	<内容の取扱い>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・14-15頁など</li> <li>・50-51頁,</li> <li>88-89頁,</li> <li>126-127頁</li> </ul>	

## &lt;別表&gt;

単元	題材	言語材料	配当時数
L.1 Places Worth Visiting	文化・異文化理解	want など+(人)+to-不定詞	7
L.2 Iwago Mitsuaki Animal Photographer	人物・職業	疑問詞+to-不定詞	7
Activity 1 Logic Puzzles			1
L.3 The Haka	文化・異文化理解	分詞	7
L.4 Digital Detox	生活・社会	if 節・疑問詞節	9
Activity 2 Read a Report!			2
L.5 Goal Setting	心理・生活	動詞 seem	9
L.6 Future Shrine and Temple Carpenters	教育・職業	助動詞+have+過去分詞	9
L.7 Aquaponics	環境・産業・社会	過去完了形	9
Activity 3 At a Fast-food Restaurant			1
L.8 Nudges	心理・生活	関係代名詞 what	9
L.9 Anpanman Everyone's Superhero	人物・文化	関係副詞	9
L.10 Do We Need That?	社会・異文化理解	使役動詞	9
Activity 4 Express Your Opinion!			2
L.11 Okigusuri Goes to Africa	人物・医療・社会	知覚動詞	9
L.12 From Small Companies to the World	産業・社会・仕事	仮定法	9
R The Story of Malala Yousafzai	人権・人物・教育		7
Hints for Understanding Plus		関係代名詞の継続用法/ 過去完了進行形/助動詞 +受け身	1
			計 116